

緩和ケア領域における理学療法の紹介 —理学療法士の可能性と広がる役割—



奈良学園大学
保健医療学部
リハビリテーション学科
池田 耕二 先生

リハビリテーションは「再び適合させる」、「復権」と訳されることがあり、リハビリテーション医療では大きな病気や外傷後に社会復帰を目指します。また不幸にも障害を有した方には新たな生活を提案し、生活の質の向上を目指すお手伝いを行います。その一端を理学療法士も担います。これは自立支援型の理学療法と称されますが、近年は疾患や障害を未然に防ぐ予防型の理学療法や、回復が見込めない患者に対して行う緩和ケア型の理学療法など、理学療法も分野に広がりを見せ多様な役割を担うようになっています。本講座では緩和ケア型の理学療法を紹介し、理学療法士の可能性やその役割についてご紹介したいと思います。

開催予定

日時：令和4年4月16日(土) 14:00~15:30

会場：奈良学園大学(登美ヶ丘キャンパス)
1号館1階 409教室

こちらから
申込みください。



※新型コロナウイルス感染症の影響により、予定されている日程・開催時間等が変更となる場合がございます。最新情報は随時ホームページで更新いたしますのでご確認ください。

ニューズレター第4号 編集後記ご挨拶

今年度最終の第4号発行にあたり、地域の施設・学校関係の皆様にご挨拶と感謝申し上げます。

コロナ禍により、今なお様々な活動が制限されています。第6回登美ヶ丘カレッジ「ちびっこ広場～親子遊び講座～」は中止せざるを得なかったことを改めてご報告致します。

しかし、「学びを止めない」は、学内外でも重要課題です。2021年度は、「グローバル SDGs」(グローバルに考え、ローカルに行動を起こす)をテーマに連続2回にわたり海外連携大学と本学学生によるオンライン交流を深め、のべ200名が参加致しました。

2022年度は、いよいよ登美ヶ丘ワンキャンパスになるReborn奈良学園大学です!

感染症予防対策の徹底を図りながら、地域の皆様との心の距離や連携の距離は近づけながら、皆様のニーズにお応えできる「奈良学園大学登美ヶ丘カレッジ」を充実させて参ります。今後共、ご意見や情報等を寄せて頂き、ご期待下さいますようお願い致します。



奈良学園大学
社会・国際連携センター長
善野 八千子

第5回 奈良学園大学登美ヶ丘カレッジ開催

報道等でもよく取り上げられるようになった「性暴力」ですが、明らかになっている被害は大きな氷山のほんの一角です。若い女性が被害に遭うイメージを抱かれますが、実際には、年齢や性別を問わず、誰にでも起こる身近にある暴力です。また「本当に嫌なら抵抗できる」と思われがちですが、突然、性暴力という危機的な出来事に遭遇した時、人間には身体や心の反応を麻痺させ、感じないようにすることで危険から自分の身を守る反応が起こります。今起こっていることが現実でないような感覚や被害を受けている自分を上から見ているような感覚になる一方、身体はショックで固まりうまく動かすことができず、声を出すこともできません。被害者は、逃げたくても逃げられないのです。



奈良学園大学
保健医療学部
看護学科
服部 律子 先生



直接誰かを支援をするということだけでなく、性暴力被害について正しく知る、そのことが支援の第1歩ではないかと思えます。現在、各都道府県には性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センターが整備されています。ワンストップセンターに繋がる全国共通短縮番号#8891(はやくワンストップ)。性暴力のない社会を目指して、支援の輪が広がればと思います。

奈良学園大学周辺施設の紹介

国立国会図書館関西館

近隣の「国立国会図書館関西館」を紹介いたします。
ご原稿は、国立国会図書館 関西館 総務課総務係長
本田伸彰 様 からいただきました。



皆さんは、国立国会図書館関西館を利用したことがありますか? 「敷居が高そう」といった感想をよくいただきます。しかし実際は、満18歳以上の方ならどなたでも、つまり大学生であれば基本どなたでもご利用いただける図書館です。関西館は日本で唯一の国立の図書館である国立国会図書館の一施設として2002年に開館し、今年20周年を迎えます。国内外の図書や雑誌のほか、博士論文やアジア地域の資料といった特徴的な資料を含む約1700万点を所蔵しています。

関西館では、これら所蔵資料の概略や使い方を紹介するミニガイドを定期的に開催しています。また初めてご来館の方には、普段入ることができない書庫などをめぐり見学ツアーもお勧めです。ワンフロアが、サッカーのフィールドほどもある地下の書庫は、通路の奥ががさむほどの広さがあります。見学ツアーは要予約ですが、18歳未満の方も参加できますので、地域の皆さんもご家族連れでいかがでしょうか。

コロナ禍で外出は難しいという方は、ホームページ上のサービス「デジタルコレクション」でお楽しみください。



「解体新書」や明治期に出版された「吾輩ハ猫デアル」など当館がデジタル化した資料を、ご自宅のパソコンやスマートフォンでご覧いただけます。

登美ヶ丘キャンパスの新しい校舎には、素晴らしい図書館が完成したと伺いましたが、当館も第2の図書館としてぜひご活用ください。

保健医療学部からのご挨拶



奈良学園大学
保健医療学部 学部長
上野 栄一

奈良学園大学保健医療学部には、看護学科とリハビリテーション学科があります。看護は、あらゆる場であらゆる年代の個人および家族、集団、コミュニティを対象に、対象がどのような健康状態であっても、独自にまたは他と協働して行われるケアです。リハビリテーションは、病気やけがなどで障害が生じた時に、再びその人らしい生活を取り戻し、豊かな人生を送ることができるよう支援していくことを目的としています。両者は21世紀の医療を担う代表的な専門医療職です。さて、科学技術は今急速に発展し、また国はSociety5.0を進めています。これはAIとIoTを基礎として産業革命のような変革を意味するもので、これからの教育もこのような技術革新の中、大学の独自性を発信することが大切と思っています。令和4年4月、奈良学園大学人間教育学部は登美ヶ丘キャンパスに新しい校舎を建設して移転して参ります。保健医療学部と人間教育学部がさらに力を合わせ、地域社会、および社会全体の発展に貢献できる人材の育成に尽力するとともに、奈良学園大学を地域に愛される魅力ある大学創りに貢献したいと思います。

奈良学園大学の教員紹介

奈良学園大学 人間教育学部 人間教育学科

森瀬 智子 先生



声楽、合唱、音楽教育を専門とし、授業を担当しています。国公立の中等教育学校や保育士教員養成校で音楽教員として勤務した経験を活かして幼児から中高生までの音楽表現とその指導法を研究しています。また、長年合唱部の顧問を務め、現在も幼児から大人まで数多くの合唱団の指導に携わっております。この登美ヶ丘地域の皆さまとも音楽を通して交流をさせていただければ幸いです。音楽専修の学生共々どうぞよろしくお願いいたします。

奈良学園大学 保健医療学部 看護学科

田場 真理 先生



私は、慢性疾患と呼ばれる、長期的な治療が必要な病気の患者さんの「心」のケアについて研究しています。特に腎臓病患者さんの心の問題は複雑であることから、それを少しでも軽減するために、透析医療に関わる看護師の方々と定期的に研究会で話し合ったり、患者会のお手伝いをさせていただいたりしています。大学の授業でも身体だけではなく、「心」の痛みを感じ取り、ケアできる看護師育成に力を入れています。

奈良学園大学 保健医療学部 リハビリテーション学科

坪内 善仁 先生



私は、「認知症予防」と「高齢者の精神心理的健康」をテーマに研究を行っています。これまで、病院で重度認知症の方の生活支援と身体リハビリテーションを実践するとともに、奈良県中南部に住む高齢者の認知症予防に取り組んできました。「認知症があっても安心して自分らしく暮らせる町づくり」を目標に、今後も実践・研究を継続したいと思っています。認知症予防やケア・生活の疑問等がありましたら、お気軽にご相談ください。

卒業生からのメッセージ



奈良学園大学
保健医療学部
看護学科
3期生
萩原 夕夏 さん

2020年3月に卒業し、奈良県立医科大学附属病院の総合診療内科・救急科混合病棟で看護師として働いています。

仕事は、発見と学びの連続です。熟慮して行ったことでも患者様から大きな叱責を受けたり、逆に何気ないケアや声掛けに大変喜んで頂いたり、人の心に寄り添う難しさを感じます。でも、それ以上に多くの喜びを感じる日々です。学生時代の「やれば出来る!」という体験は自信となり現在の自分を支えています。これからも、患者様の期待に応えられるよう、私のモットー「一生勉強、一生青春」を貫くべく、何事にも探求心と熱意をもって歩みを進めます。

在学生からのメッセージ



奈良学園大学
保健医療学部
リハビリテーション学科
理学療法専攻
下岡 美月 さん

私の目標は、多くの人を支えられる理学療法士になることです。そのために、大学に入学し国家試験受験資格獲得と国家試験合格に向けて日々勉強に取り組んでいます。また、勉強だけでなくサークル活動やオープンキャンパススタッフなどにも積極的に参加しています。専門知識の学びだけでなく、周囲との関りを通して協力することの重要性など様々な面からの学びを得ることができます。多くの人を支えられる理学療法士になるには専門知識以外の学びを得ることも必要だと思っています。

今後も、様々な面からの学びを得て目標に向けて努力しながら進んでいきたいと思っています。

奈良学園大学が「大阪府との共同研究発表会」シンポジウムで発表

～JR大阪駅デジタルサイネージに「その言葉、誰かを傷つけへん？」のメッセージ～



プロジェクトリーダー：人間教育学部3回生
(早川 千世さん・伊藤 美香さん・横山 菜摘さん)
指導者：人間教育学部の各教員
(岡本恵太先生・住本克彦先生・善野八千子先生)

令和3年11月27日(土) 大阪産業創造館 4F イベントホール(大阪市中央区本町1-4-5)において、関西の6大学(大阪教育大学、関西大学、近畿大学、甲南大学、奈良学園大学、龍谷大学)が、「インターネット上の人権侵害の解消」に向けた取組の成果を発表した。

奈良学園大学の発表テーマは、「インターネット上の人権侵害をどう防ぐか～教師をめざす学生として、意識改革から行動変容へ～」。

当日の登壇学生は人間教育学部Ⅲ回生で、プロジェクトリーダーの伊藤 美香さん・早川 千世さん・横山 菜摘さん。指導者は、人間教育学部の各教員[善野 八千子先生：大阪府人権施策推進審議会会長、岡本 恵太先生：教育社会学、住本 克彦先生：岡山県いじめ問題対策連絡協議会会長]。

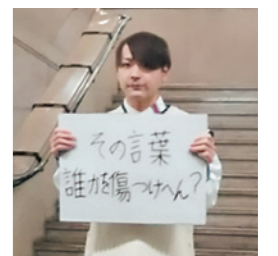
教員をめざす学生が受講する「人間教育実践力開発演習Ⅲ」では、毎週予習課題として時事問題を取り上げたり、ゼミで議論したり、アクティブラーニングを充実させながら学修を深めてきた。

講評の有識者からは、「研究手法に深さがあり、人権問題を自分事として捉えている。是非教師になって欲しい。」という高い評価を得た。また、約300名の参加者からも大変大きな反響を頂いた。

A市職員：「これほどの深い研究なので、マニュアルを作成されて、府内へ配布してはどうか。」

B市職員：「本日の貴重な資料を本市の教育委員会に提供させて頂きたい。」

今後の予定として、JR大阪駅のデジタルサイネージには、奈良学園大学のメッセージボードをもつ本学学生と「その言葉、誰かを傷つけへん？」の動画が流れる予定である。



人間教育学部3回生
新里 成哉さん